


翠嵐のあゆみ 1914-2014


- 1914 (大正3) 5月11日 **神奈川県立第二横浜中学校**開校式挙行
希望ヶ丘、小田原、厚木、横須賀(ともに現校名)に次いで県内5つ目の旧制中学
- 1918 サッカー部が第1回関東中等学校蹴球大会に出場(瀧澤初代校長はサッカーを奨励)
- 1919 翠嵐会発足
- 1923 **横浜第二中学校**に改称/関東大震災で卒業生6名・在校生13名が亡くなる
- 1925 校友会雑誌『翠嵐』創刊。以降断続的に発行され、1969年2月の第41号で中断
- 1928 (昭和3) 全国中学校蹴球大会でサッカー部がベスト4
- 1929 第2回全日本男子中等学校軟球選手権大会で内藤・近藤組がテニスダブルスで優勝
- 1935 全国中等学校野球選手権神奈川県大会で4位
- 1938 廣長敬太郎弁論部員が全国中等学校優勝盃争奪雄弁大会で1位に、前年に続き優勝し連覇達成
- 1944 11月30日 学徒勤労動員で二中生が陸軍田奈部隊(跡地は現「こどもの国」)に通勤途上、
乗っていたトラックが転覆事故、6人が帰らぬ人に、現在も慰霊行事が行われる
- 1945 5月19日 午前横浜大空襲で校舎にも焼夷弾が落とされたが、教職員と生徒がバケツリレーで消火
敗戦後の9月3日から占領軍が生徒昇降口・グラウンド・プール・講堂を接収開始、順次返還されつつ接収は55年まで続く
不自由な半面アメリカ文化を目の当たりに
- 1948 **横浜第二高等学校**に改称/生徒自治会・P.T.A(のちの翠和会)が発足
- 1949 翠嵐時報創刊/バレーボール部が第4回国体で準優勝(会場は三ツ沢のバレーコート)
4月、12月と相次ぎ不審火、12月の火事では本館・雨天運動場を除き全焼
県立横浜第一女子高(現横浜平沼高校)の校舎を間借りして分校を設置(51年10月まで)
- 1950 **横浜翠嵐高等学校**に改称、当初「神奈川高校」が有力だったが近隣の神奈川学園に配慮して校歌から採ったとされる
男女共学に/翠嵐時報記者が天野文部大臣に独占インタビュー
(この故事にちなみ「創立80周年特別記念号」(1994)でも長洲県知事に独占インタビュー)
- 1952 国体に柔道部平沢選手が出場
- 1954 翠嵐平沼対抗戦(翠平戦)が始まる(平沼では「平翠戦」)
- 1955 神奈川で開催の第10回国体にサッカー部と山岳部が出場
- 1957 泉田選手が島原選手とともに国体に2年連続出場し、体操の跳馬種目で優勝
- 1959 中島JRC団長が国際青少年赤十字大会日本代表としてカナダへ
体育祭企画の1年男子のダンスが好評を博す(のちの「可愛子ちゃん」のルーツ)
- 1961 野球部が夏の神奈川大会でベスト8、本校ナインの健闘に対しスタンドから満場の拍手が湧き起こる
- 1964 創立50周年/定時制が設置される
- 1969 秋から翌年春にかけて翠嵐闘争(高校紛争)が起きる
- 1970 医学者沖中重雄氏(中3回)が文化勲章を受章
- 1971 囲碁将棋同好会(現棋道部)が全国高校将棋選手権男子団体の部で優勝(前年も準優勝)
- 1976 バスケットボール部女子がインターハイ出場、男子も関東大会で3位
- 1977 写真家土門拳氏(中10回)が卒業から半世紀ぶりに母校を訪問、作品2点を寄贈
- 1980 第25回翠平戦に勝利。以降開かれず通算成績翠嵐13勝12敗(永遠の勝ち越し?)
- 1981 体操部石黒選手がインターハイに出場
- 1984 アマチュア無線のオールJAコンテストで電気科学部が全国1位
- 1988 学食を32年間続けた喜久屋が交替 **おじさん、お世話になりました!**
- 1989 (平成元) アメリカ合衆国エレノア・ルーズベルト高校と交流が始まる
- 1992 野球部が夏の神奈川大会でベスト8
- 1994 彫刻家田邊光彰氏(高9回)作「MOMI-(2)1994」をプール跡地に設置
- 1995 棋道部女子が全国高校囲碁選手権(団体)・全国高校総合文化祭(個人)ベスト16
- 2002 陸上部竹内選手が国体の三段跳びで優勝
- 2008 夏の高校野球神奈川県大会で本校野球部原田主将が選手宣誓
- 2009 高校生クイズ選手権全国大会に3年生3名が出場
- 2013 学力向上進学重点校アドバンス校に指定(2校のうちの1校)
- 2014 第9回全国高校生短歌大会(短歌甲子園)団体の部で優勝
創立100周年/定時制設置50周年 **おめでとうございます!**